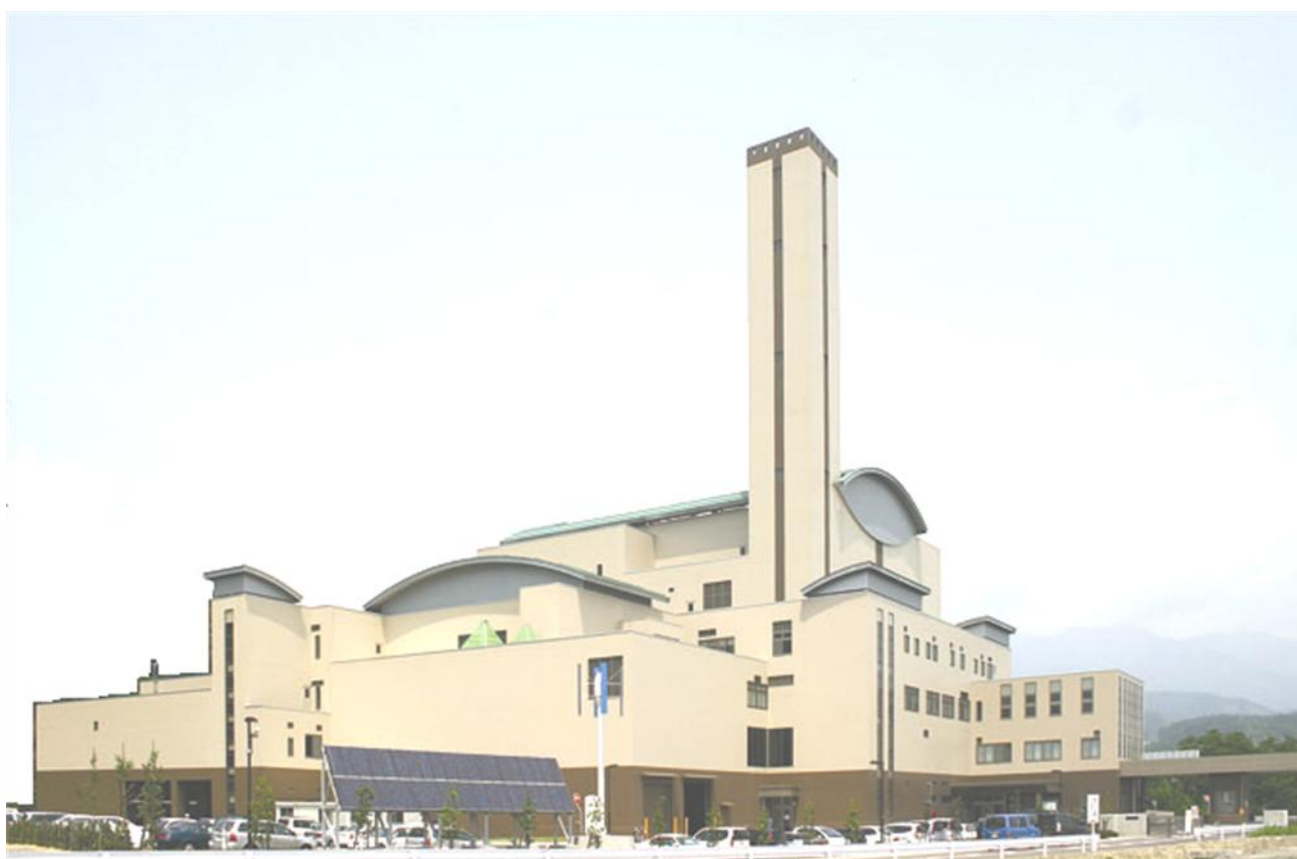




大野・勝山地区

広域行政事務組合の概要

令和7年度



▲ごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」

目次

第1章 圏域の概要	1
1. 位置及び地勢・面積・人口	1
2. 産業	2
第2章 事務組合の概要	3
1. 事務組合の概要	3
2. 事務組合の歩み	3
3. 組合議会	4
4. 事務組合の機構	4
第3章 事業の概要	5
1. 廃棄物処理施設の管理運営事業	5
2. 広域観光の推進事業	7
3. 奥越青少年愛護センター運営事業	10
4. 介護保険認定審査会・障害者介護給付市町村審査会の運営事業.....	12
令和7年度 予算	13

第1章 圏域の概要

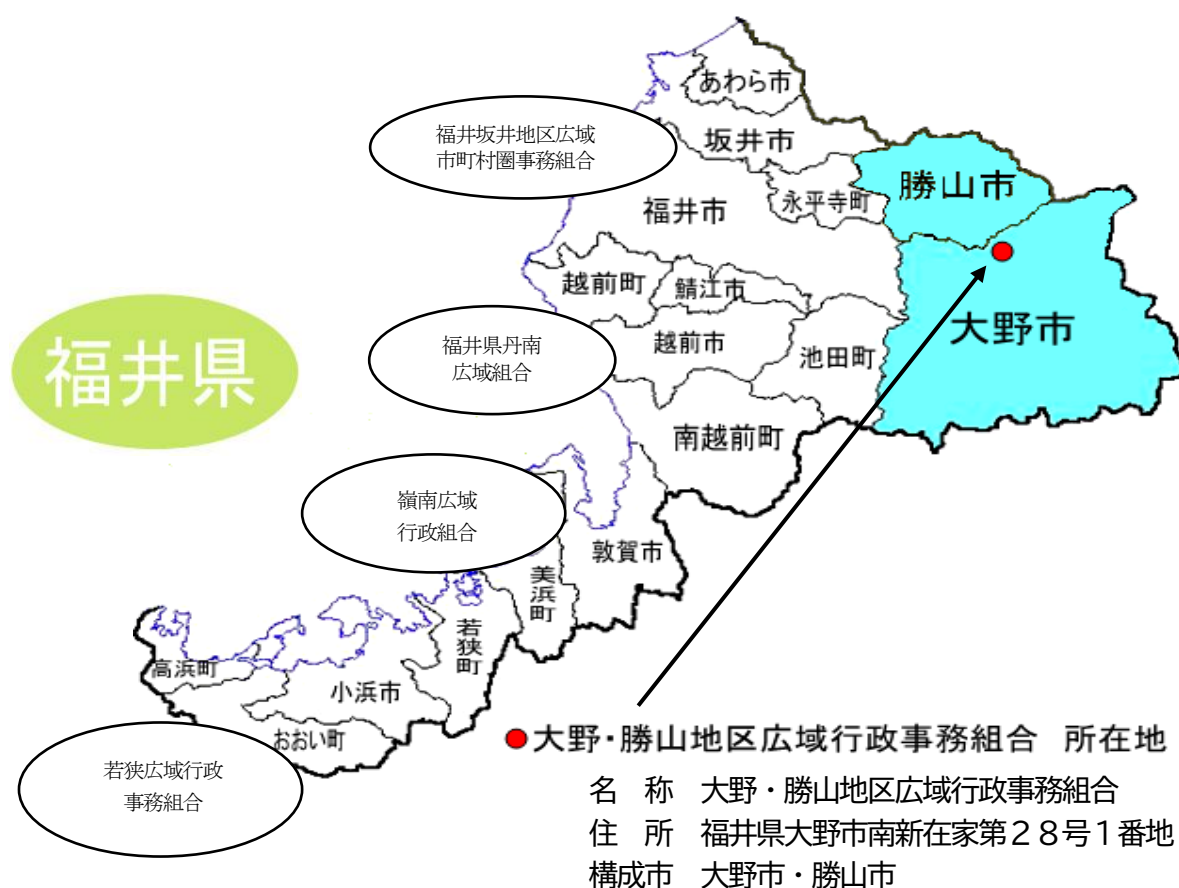
1. 位置及び地勢・面積・人口

本圏域は、大野・勝山地区広域市町村圏と称し、北部は石川県、東部及び南部は岐阜県、西部は福井坂井地区広域市町村圏及び丹南地区広域市町村圏に接しており、白山国立公園、奥越高原県立自然公園などの美しい自然環境と古い歴史を有している。また、構成する大野市、勝山市とも特別豪雪地帯に指定されている。

本圏域の面積は1,126.31km²で県土面積の26.9%を占め、県内4圏域の中で最大である。圏域面積の85.2%、960.10km²は森林面積である。

本圏域の人口は48,835人(令和7年4月1日現在)で、年々減少傾向にある。

〔数値データ:R5(第71回)福井県統計年鑑〕



人口・世帯数・面積の市別表

区分	面積 (km ²) (※1)	令和7年4月1日現在(※2)		1世帯当り 人員 (人)	人口密度 (人/km ²)
		人口 (人)	世帯数 (戸)		
大野市	872.43	28,458	10,723	2.65	32.62
勝山市	253.88	20,377	7,494	2.72	80.26
圏域計	1,126.31	48,835	18,217	2.68	43.36
福井県	4,190.54	734,119	299,571	2.45	175.18
広域/福井県	26.9%	6.7%	6.1%		

数値データ:(※1)R5(第71回)福井県統計年鑑

(※2)福井県の人口と世帯(推計)

推計人口及び世帯数は、「令和2年国勢調査(10月1日現在)」の結果を基礎とし、これに毎月、市町から報告される住民基本台帳の増減数を加えて算出している。

2. 産 業

(1)農林水産業

農業においては、圏域の耕地面積6,080haのうち95.2%が水田で、コシヒカリ、五百万石(酒造用米)また水稻種子の優良な産地として知られている。生産調整田では特産作物である里芋や大麦とその後作であるソバの作付けが盛んである。

林業においては、圏域の森林面積96,010haのうち29.0%の27,870haが人工林として管理されている。

また、林産物としては、生椎茸が県全体の24.5%、41,075kg、まいたけが県全体の99.6%、114,912kg生産されている。

水産業においては、圏域内に3つの漁業協同組合があり、内陸に位置する当圏域では、九頭竜川、真名川を中心に内水面漁業が行われている。

[数値データ:R5(第71回)福井県統計年鑑]

(2)商工業

圏域の商業事業所数は、574事業所で県全体の6.9%、年間商品販売額は、約521億円で県全体の2.7%となっている。

工業事業所数は、138事業所で県全体の6.9%、製造品出荷額は、約1,096億円で県全体の5.1%となっており、主な製造物は、繊維製品や弱電・自動車部品である。

[数値データ:R5(第71回)福井県統計年鑑]

(3)観光

総面積の34%が白山国立公園と奥越高原県立自然公園の一部に指定されている。

豊かな自然資源と史跡、古い町並みなど優れた文化遺産、さらにはこうした風土、歴史に育まれた伝統の七間朝市や勝山左義長まつりなど民俗的な資源に恵まれている。

また、ジュラ紀、白亜紀の地層である手取層群の露出地が点在しており、勝山市は国内で産出される恐竜化石の多くを占める産出地となっていることから、県立恐竜博物館が設置され、圏域内最大の誘客施設となっている。

令和5年の圏域内への観光入込客数は、福井県立恐竜博物館のリニューアルオープン(R5.7)や中部縦貫自動車道大野油坂道路の九頭竜ICまでの延伸(R5.10)により、観光施設やまちなか観光等の来客者数が増加し、前年比17.4万人(4.2%)増の429.7万人となっている。

[数値データ:R5(第71回)福井県統計年鑑]

第2章 事務組合の概要

1. 事務組合の概要

奥越地方において、国が推進してきた広域行政圏施策に基づき、昭和46年10月、大野市、勝山市及び和泉村の3市村を区域とする「大野・勝山地区広域市町村圏協議会」が設置され、翌年3月に「大野・勝山地区広域市町村圏計画」が策定された。

これに伴い、昭和47年7月1日、廃棄物処理施設の設置及び管理運営に関する業務及び大野・勝山地区広域市町村圏計画の策定及び連絡調整に関する事務等を共同処理する「大野・勝山地区広域行政事務組合」が発足した。

その後、伝染病隔離病舎管理、奥越青少年愛護センター、農業共済事業、広域観光事業等2市1村共同で実施する事業が順次スタートした。

平成11年3月には伝染病隔離病舎が廃止され、平成12年3月に県内の農業共済の合併に伴い、農業共済の事務も廃止された。

平成12年4月には介護保険2次判定業務がスタートし、平成18年8月に(旧)障害者自立支援法に基づく市町村審査会の2次判定業務がスタートした。

また、事務組合発足当時の目的であったごみ処理施設が平成18年に完成し、その管理運営事業が当組合の主たる事業となっている。

なお、構成自治体は、平成17年11月に大野市と和泉村が合併したことにより、大野市、勝山市の2市となっている。

平成23年4月1日には、国の広域行政圏施策の廃止に伴い、以後の広域市町村圏計画を策定しないこととした。

現在、組合が共同処理する主な事務は以下のとおり。

＜共同処理を実施している事業＞

- | | | |
|---------------|-------------------|-----------------|
| ①廃棄物処理施設の管理運営 | ②広域観光の推進 | ③奥越青少年愛護センターの運営 |
| ④介護保険認定審査会の運営 | ⑤障害者介護給付市町村審査会の運営 | |

2. 事務組合の歩み

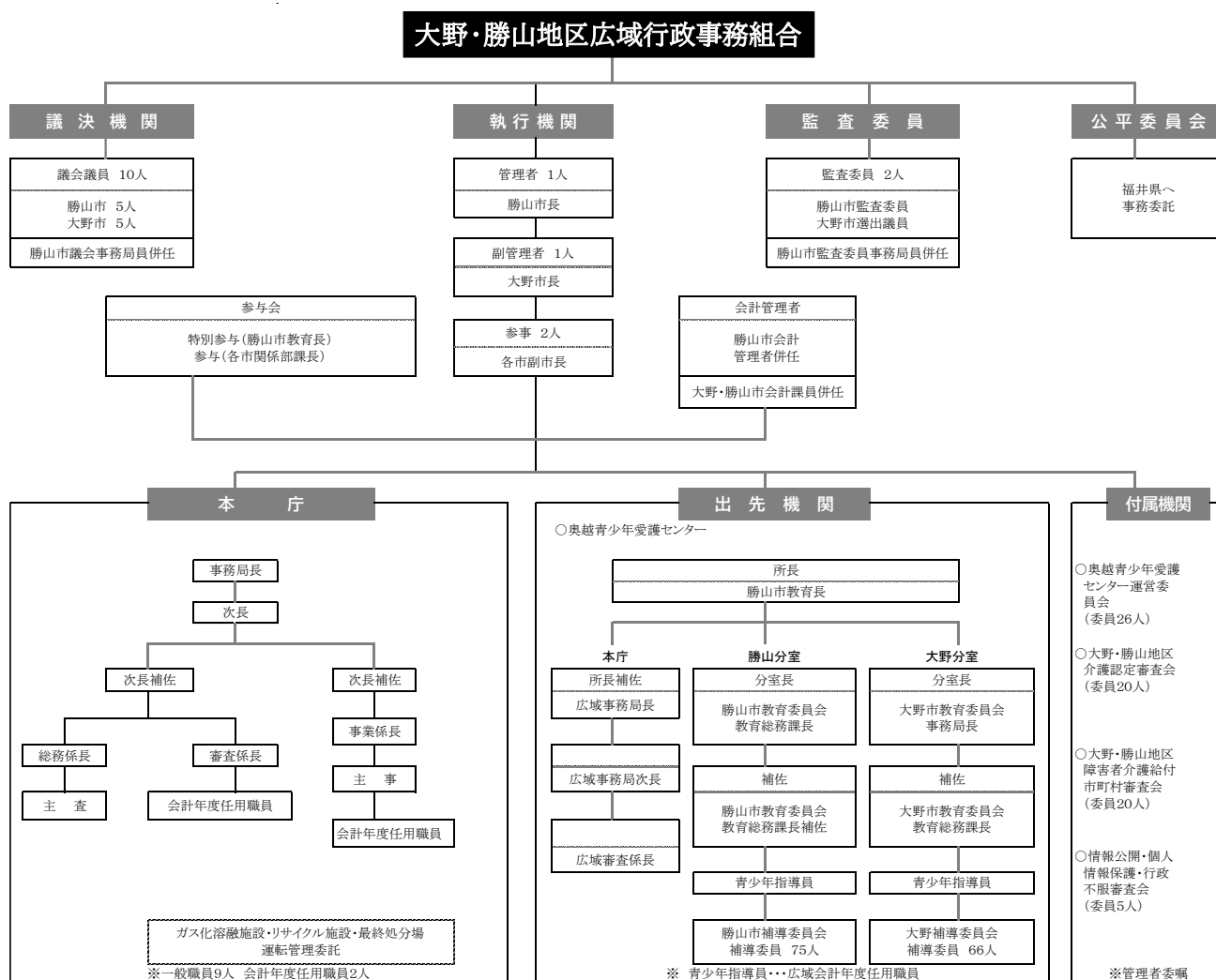
年 月 日	主 な 出 来 事
昭和 45. 3. 3	奥越地区広域行政推進協議会設置（任意）
45. 4. 1	勝山市・大野市伝染病隔離病舎組合設立
46. 7. 12	大野・勝山地区広域市町村圏設立
46. 10. 1	大野・勝山地区広域市町村圏協議会設立
47. 7. 1	大野・勝山地区広域行政事務組合設立（大野市、勝山市、和泉村・一部事務組合）
53. 4. 1	伝染病隔離病舎の管理運営事務併合
57. 4. 1	奥越青少年愛護センター発足
61. 4. 1	奥越農業共済事務所発足（共同事務がスタート）
平成 11. 3. 31	伝染病隔離病舎廃止
12. 3. 31	奥越農業共済事務所合併による事務廃止
12. 4. 1	介護保険制度・2次判定業務スタート
16. 3. 5	ごみ処理施設建設工事着工
16. 12. 24	最終処分場建設工事着工
17. 11. 7	大野市・和泉村が大野市として合併
18. 3.	最終処分場（エコバレー）竣工
18. 6.	ごみ処理施設（ビュークリーンおくえつ）竣工
18. 7. 1	ごみ処理施設本格稼働
18. 8. 11	障害者自立支援制度・2次判定業務スタート
23. 4. 1	広域市町村圏計画の策定業務廃止

3. 組合議会

議会構成等

- 定例会 …… 12月・3月
 議員定数 …… 大野市 5人
 勝山市 5人
 議員選出 …… 各市議会議員のうちから選挙する
 議会会期 …… 定例会 1日(平成28年3月定例会から)
 臨時会 1日
 議 場 …… 勝山市役所 議場(管理者市議場)

4. 事務組合の機構（令和7.4.1現在）



第3章 事業の概要

1. 廃棄物処理施設の管理運営事業

大野・勝山地区広域行政事務組合廃棄物処理施設の最終処分場「エコバレー」は、平成18年4月から、ごみ処理施設「ビュークリーンおくえつ」は同年7月から本格稼働し、大野市と勝山市のごみを処理している。

「ビュークリーンおくえつ」は、燃やせるごみを処理するガス化溶融施設と粗大ごみや資源ごみの資源化を図るリサイクル施設からなっている。また、ガス化溶融施設では下水道汚泥も併せて処理を行っている。

これら施設の建設は、平成16年に着工し、約3年で完成した。総工費は「ビュークリーンおくえつ」が約65億円、「エコバレー」が約10億円である。

ガス化溶融施設は1日当たり92t、リサイクルプラザは1日31tを処理することができる。

また、「エコバレー」では1日30m³の浸出水を処理することができる。

ビュークリーンおくえつ（ガス化溶融施設・リサイクル施設）

所在地	大野市南新在家第28号1番地
敷地面積	約15,000m ²
建築面積	6,130m ²
処理能力	
ガス化溶融施設	92t/日（46t/24h×2炉）
リサイクル施設	不燃・粗大ごみ 10t/5h 資源ごみ 21t/5h
総事業費	6,498,450千円
工期	平成16年3月～平成18年6月
稼働	平成18年7月～

エコバレー（最終処分場）

所在地	勝山市平泉寺町岩ヶ野42字上野34番2
埋立面積	5,530m ²
埋立容量	25,000m ³
浸出水処理能力	30m ³ /日
埋立方法	セル方式 準好気性埋立
総事業費	浸出水処理施設 606,900千円
埋立処分地造成	311,535千円
工期	平成16年12月～平成18年3月
稼働	平成18年4月～

令和6年度ごみ処理量

ビュークリンぷくえ



ごみ搬入量 17,024トン
(R5年度比 7.7%減)

- ・燃やせるごみ 13,513トン
- ・燃やせないごみ 606トン
- ・資源ごみ 1,122トン
- ・下水汚泥 1,722トン
- ・埋立処理分（直接） 61トン

H30 20,717トン
R1 20,608トン
R2 20,415トン
R3 19,690トン
R4 19,338トン
R5 18,440トン

資源ごみ処理量 2,375トン
(R5年度比 10.4%減)

- ・粗大ごみ処理 917トン
- ・資源化処理 1,458トン

R2 3,071トン
R3 3,004トン
R4 2,804トン
R5 2,650トン

直接埋立分 61トン

※一人当たり一日のごみ排出量 814g

ごみ焼却量 15,270トン
(R5年度比 7.7%減)

- ・ごみ焼却処理 13,548トン
- ・下水汚泥処理 1,722トン

R2 18,192トン
R3 17,380トン
R4 17,181トン
R5 16,550トン

焼却 682トン

資源化 粗大ごみより357トン・資源化物より1,034トン

埋立 302トン

埋立処分量 842トン
(R5年度比 6.3%減)

- ・飛灰固化物 479トン
- ・不燃物残渣 302トン
- ・直接埋立分 61トン

H30 1,110トン
R1 1,040トン
R2 1,063トン
R3 1,033トン
R4 1,030トン
R5 899トン

資源化 2,206トン
(R5年度比 8.6%減)

- ・古紙類 783トン
- ・スチール缶 37トン
- ・その他鉄類 342トン
- ・アルミ缶 65トン
- ・その他アルミ類 28トン
- ・ビン類 95トン
- ・ペットボトル 54トン
- ・乾電池等 16トン
- ・テープ類 9トン
- ・小型家電 2トン
- ・プラスチック 3トン
- ・スラグ 772トン

R1 2,970トン
R2 2,691トン
R3 3,254トン
R4 2,688トン
R5 2,414トン

エコバー



2. 広域観光の推進事業

(1) 概 要

当組合の観光関連事務事業は大きく分けて次の3つに分けられる。

①他圏域との連携

「環白山広域観光推進協議会」、「ふくいやまぎわ天下一街道広域連携協議会」に構成団体として参画し、出向宣伝や各種イベントを展開している。

②観光関係団体への補助事業

「奥越前観光連盟」に事業補助金を支出している。

③団体事務

「奥越前観光連盟」と「九頭竜テラル高原推進協議会」の2団体の事務局を担当している。

(令和7年度 観光関連事業計画)

事業名	補助金等(千円)
奥越前観光連盟補助金	3,340
環白山広域観光推進協議会負担金	500

(2) 令和6年度観光関連事業実施概要

◎奥越前観光連盟実施事業

(大野市・勝山市の観光関係団体等で構成)

① 誘客・周遊促進事業

1 大野・勝山魅力発掘スタンプラリー

奥越の代表的な観光施設から、他の観光施設やまちなか商業施設等への誘客・周遊を図るため、観光施設と商業施設を巡り、獲得したスタンプ数に応じて賞品に応募できるデジタルスタンプラリーを実施。同時にInstagramにスタンプラリーのハッシュタグをつけて投稿した方に抽選でお米が当たるプレゼント企画を実施した。

スタンプ設置箇所:50か所(大野市25か所、勝山市25か所)

実施期間:10月12日(土)~12月15日(日)

参加者数(スタンプを1つ以上獲得した人数):517人

スタンプ取得数:2,536件(大野1,301件、勝山1,235件)

賞品応募数:554件

Instagram投稿数:78件

② 広告・宣伝事業

1 パンフレット作成

奥越前ドライブマップを令和6年3月の北陸新幹線県内開業に合わせ、JR福井駅や芦原温泉駅からの経路の表示や、食事・お土産の店舗情報の充実を図るなどリニューアルし、観光関連施設に配布した。

2 出向宣伝・商談会

ツーリズムEXPOジャパン2024の福井県観光連盟出展ブースに参加し、奥越前観光連盟の個別商談会や出向宣伝、奥越前ドライブマップの配布等を実施した。

実施場所・期間:東京ビッグサイト・9月26日(木)~29日(日)

◎九頭竜テラル高原推進協議会実施事業

(圏域内3スキー場(スキージャム勝山・九頭竜・福井和泉)や観光関係団体等で構成)

○広報宣伝事業

・出向宣伝

関西圏や中京圏で開催された大型のウィンタースポーツ用品販売イベントに合わせ、スキー場3事業者と協力して出向宣伝やPRブースを出展。

スキー場の割引クーポンや旅館組合加盟店、京福バスの情報を掲載した、奥越前のスキー場等の魅力を発信するチラシを作成(6,000部)し、各スキー場のパンフレット等と合わせて、イベント期間中ににおける出展ブースでの配架等を実施した。

○スノーボード天国

日程等:名古屋吹上ホール 11/1(金)~11/4(月)

○JSBCスノータウン

日程等:京セラドーム大阪 11/16(土)~2/24(月) ※出向宣伝を 11/16(土)・17(日)に実施

・奥越の小中学生へのリフト券交換券配布

奥越の小中学生がスキー・スノーボードに親しむ機会を増やすため、奥越の3スキー場いずれかのリフト券と交換できる「奥越の小中学生限定 1 日リフト券交換券」を勝山市・大野市の小中学生に配布した。

配布数:3,389 枚(大野市 1,991 枚、勝山市 1,398 枚)

利用状況:スキージャム勝山	357 枚	}	合計 710 枚
福井和泉スキー場	101 枚		
九頭竜スキー場	252 枚		

◎環白山広域観光推進協議会実施事業

(白山を取り囲む3県5市村2団体に構成)

・プラチナルートパンフレットの作成

自然、体験、文化、食、祭りを切り口とした情報を掲載するとともに、裏面には「ぐるっと白山周遊イラストマップ」を使用したパンフレットを作成した。

作成部数:3万部(環白山地域124カ所に発送するとともに、観光PRイベント等で配布)

・インスタグラムを活用した魅力発信事業

環白山広域観光推進協議会のインスタグラムアカウントにおいて、ぐるっと白山HPに掲載した地元ライター記事へ誘導する投稿や、環白山地域のイベントやお勧め情報を周知する投稿を掲載した。

・地元ライターによるオススメ情報発信事業

環白山地域在住者の中から公募オファーしたライターによる地元ライター記事を、ぐるっと白山HPへ掲載した。

ライター数:12人(白山市 5・大野市2・勝山市2・郡上市3人)

投稿記事:35 本(白山市 6・大野市 6・勝山市 6・郡上市6・白川村6・周遊テーマ5本)

ぐるっと白山HPアクセス数:512,471PV ※R5 163,178PV

・関西圏情報発信拠点連携イベント事業

令和6年7月にJR大阪駅にオープンした北陸三県情報発信拠点「HOKURIKU+」と連携して、春の環白山地域の観光PRを実施した。

日程:令和7年2月26日(水)~3月4日(火)

<事業実施に際して作成したチラシ・パンフレット等>



【奥越前観光連盟】誘客周遊促進事業
大野・勝山魅力発掘スタンプラリー



【奥越前観光連盟】広報宣伝事業
奥越前ドライブマップリニューアル



【九頭竜テラル高原推進協議会】
出向宣伝



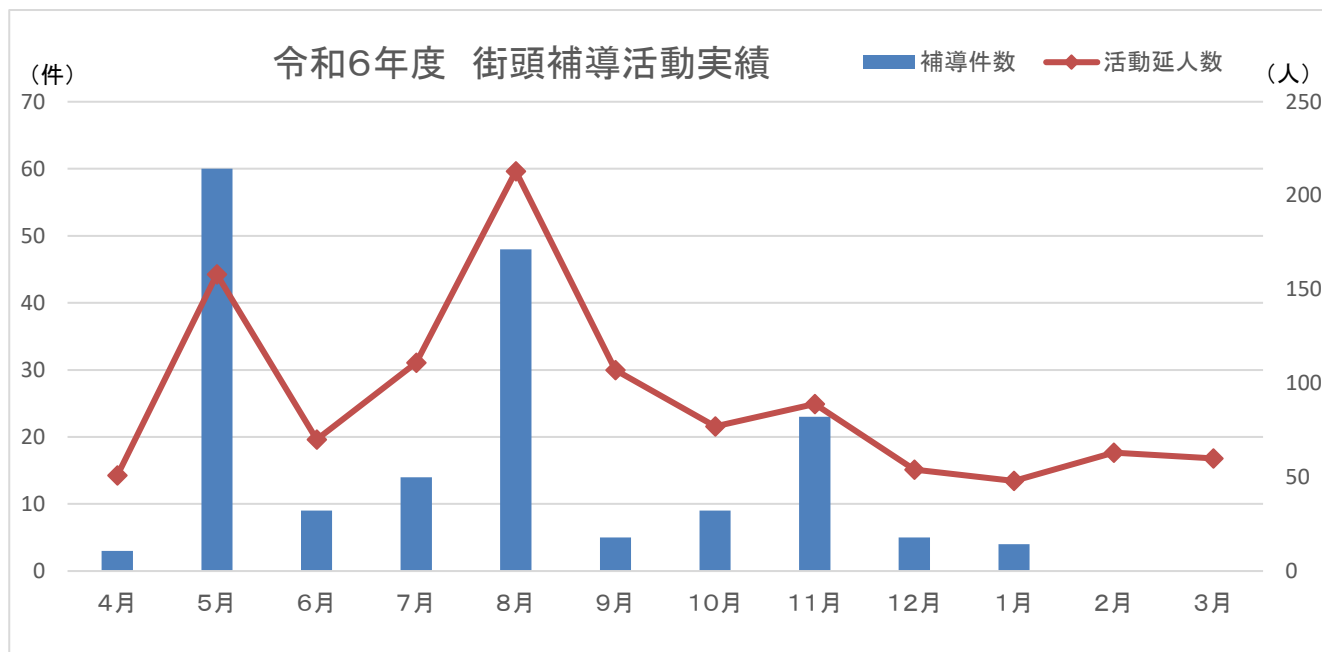
【九頭竜テラル高原推進協議会】
1日リフト券交換券配布

3. 奥越青少年愛護センター運営事業

奥越青少年愛護センターでは、下記の事業を実施し、管内の青少年の健全育成に努めている。

(1) 補導委員による補導活動

補導委員141人を委嘱し、青少年の非行防止と健全育成のため、日夜補導巡回活動を実施している。
令和6年度において、延べ 1,101人の補導委員による補導活動を実施し、180人に対し「愛の一声」を行った。



(2) 環境浄化活動

書店、ビデオショップの巡回、指導を実施している。また、駅(3か所)に白いポストを設置し、有害図書やDVDなどを回収することにより、青少年への悪影響を排除し、環境浄化に努めている。

令和6年度は、103冊の有害図書等を回収した。

(3) ポスターコンクール

青少年健全育成の啓発を目的に、小中学生を対象とした、青少年健全育成図画・ポスターコンクールを実施している。また、最優秀作品を採用したポスターを作成し、関係団体施設等に掲示をしている。

令和6年度は、小学生186点、中学生35点の応募があった。

(4) 相談業務

青少年、保護者等からの電話(ヤングテレホン)や面談による相談を受け付けている。

令和6年度は、29件の相談があった。

(5) 善行青少年表彰

青少年の健全育成に貢献のあった青少年個人及び団体を顕彰している。

令和6年度は、個人4件13人と20団体を表彰した。

(6) 校区毎の地区懇談会の実施や、遊泳禁止箇所の点検等を実施している。

管内の青少年数 R7.4.1 現在（ ）は昨年的人数

単位：人

区分	管内	大野市	勝山市	備 考
小学生	2,195(2,306)	1,254(1,336)	941(970)	大野市9校 勝山市10校(私立1校含む)
中学生	1,226(1,189)	705(650)	521(539)	大野市2校 勝山市4校(私立1校含む)
高校生	955(1,034)	679(713)	276(321)	大野市2校 勝山市1校
合 計	4,376(4,529)	2,638(2,699)	1,738(1,830)	

※高校生の生徒数については、高校の所在地で集計、勝山市に奥越特別支援学校含む

2025 ヤングテレホン

困っているとき、悩んでいるとき、ちょっと相談してみませんか？



☆奥越青少年愛護センター大野分室

0779-66-1006

✉ aigo-ono@song.ocn.ne.jp

☆奥越青少年愛護センター勝山分室

0779-88-1004

✉ aigo@city.katsuyama.lg.jp

平日の午前9時～午後4時

県内のその他の相談先

電話相談（24時間365日） （子ども虐待防止相談）	0776-35-1781	毎日	24時間	福井児童相談所
ヤングテレホン （いじめの相談）	0120-783-214	月～金	8:30 ～17:15	福井少年サポートセンター
こどもの人権110番 （いじめの相談）	0120-007-110 LINEもできます	月～金	8:30 ～17:15	福井地方法務局
電話相談 （いじめ・教育相談）	0120-0-78310	毎日	24時間	福井県教育総合研究所
ふくいチャイルドライン （子ども専用の電話）	0120-99-7777	毎日	16:00 ～21:00	福井県子どもNPOセンター

4. 介護保険認定審査会・障害者介護給付市町村審査会の運営事業

(1) 介護認定審査会

保健、福祉、医療分野の有識者20人で構成する大野・勝山地区介護認定審査会を設置し、要介護認定の審査・判定(要支援・要介護度の決定)に関する業務を行っている。

審査会は、WEB会議により実施しており、令和6年度は、108回の開催により2,930人の判定を行った。

令和6年度 介護認定審査会実績

(単位：人)

給付区分	要介護度	大野市	勝山市	合計
予防給付	要支援1	131	117	248
	要支援2	272	196	468
介護給付	要介護1	270	181	451
	要介護2	311	214	525
	要介護3	289	160	449
	要介護4	257	178	435
	要介護5	193	128	321
	非該当	8	25	33
合計		1,731	1,199	2,930

介護認定審査会判定結果集計表より、大野と勝山を出して入力。再調査は除く。

(2) 障害者介護給付市町村審査会

大野・勝山地区障害者介護給付市町村審査会を設置し、障害(身体障害・知的障害・精神障害)区分の2次判定に関する業務を行っている。(審査会委員は介護認定審査会と兼務)

令和6年度は、審査会を12回開催し、159人の審査判定を行った。



審査会

令和7年度 予算

<一般会計>

【単位：円】

歳入（款）	予算額	主な収入
1 分担金及び負担金	2,174,146,000	大野市・勝山市より
2 使用料及び手数料	62,735,000	施設持込手数料
3 国庫支出金	801,011,000	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
4 県支出金	338,000	愛護センター補助
5 財産収入	1,262,000	物品売払収入
6 繰入金	1,000	特別会計繰入金
7 繰越金	1,000	前年度繰越金
8 諸収入	49,633,000	再資源化売却代等
歳入合計	3,089,127,000	

歳出（款）	予算額	主な支出
1 議会費	1,700,000	議会に要する経費
2 総務費	77,890,000	職員給与費
		行政事務費
		広域圏振興事業費
		愛護センターに要する経費
		特別会計繰出金
		監査に要する経費
3 民生費	16,811,000	介護保険認定審査会運営事業費
		障害者介護給付市町村審査会運営事業費
4 衛生費	2,991,884,000	職員給与費
		清掃総務事務経費
		ごみ処理施設管理運営経費
		最終処分場管理運営経費
		廃棄物処理施設基幹的設備改良事業
5 公債費	342,000	利子
6 予備費	500,000	
歳出合計	3,089,127,000	

<ふるさと市町村圏振興事業特別会計>

【単位：円】

歳入（款）	予算額	主な収入
1 財産収入	688,000	ふるさと市町村圏基金利子
2 繰入金	3,217,000	一般会計繰入金
3 繰越金	1,000	前年度繰越金
歳入合計	3,906,000	

歳出（款）	予算額	主な支出
1 総務費	22,000	一般管理費等
2 ふるさと市町村圏 振興事業費	3,884,000	ふるさと市町村圏企画推進事業費
		ふるさと市町村圏観光推進事業費
歳出合計	3,906,000	

大野・勝山地区広域行政事務組合の概要（令和7年度版）
発 行／大野・勝山地区広域行政事務組合 〒912-0011 福井県大野市南新在家第28号1番地 TEL 0779-66-6690 FAX 0779-66-6691 E-mail okuetsu@ok-kouiki.jp
発行日／令和7年5月